

平成 30（2018）年度事業状況報告書

定款第 5 条第 1 項の（1）から（6）に掲げる平成 30 年度の事業計画実施概要の報告は下記の通りです。

記

1 号事業報告：大会セミナー等事業

(1) JACET 第 57 回国際大会（仙台、2018）の開催

平成 30 年 8 月 28 日から 30 日まで東北学院大学土樋キャンパス（宮城県仙台市）において、「グローバル化に向けた初等英語教育から高等英語教育までの学習成果の質保証」をテーマに JACET 第 57 回国際大会（仙台、2018）を開催した。742 人の参加者があった。本大会は、基調講演 3 件、海外提携学会代表による招待講演 13 件、特別企画シンポジウム 2 件をはじめ、東北支部企画として特別講演 1 件と支部企画シンポジウム 1 件、State of the Art シリーズとして特別企画ワークショップ 2 件、特別委員会報告 1 件、賛助会員シンポジウム 5 件、研究会ポスターセッション 23 件、Doctoral Thesis ポスターセッション 3 件、グローバルポスターセッション 4 件、外部試験テストポスターセッション 13 件と、多岐に渡る内容で行われた。また、一般発表としては、研究発表 78 件（内、学生枠 4 件）、実践報告 39 件、ワークショップ 7 件、ポスターセッション 7 件、後援協賛企画 2 件が行われた。

本大会の全体報告および基調講演、招待講演、全体シンポジウム、支部企画、特別企画ワークショップ、賛助会員特別シンポジウム、特別委員会報告は、12 月に刊行した『JACET 通信 203 号』に掲載し、学会ウェブサイトで会員に周知した。また、後援名義許可をいただいた文部科学省、仙台市教育委員会、仙台国際観光協会、東北大学への報告も行った。

(2) JACET 第 1 回ジョイントセミナー（京都、2018）の開催

平成 30 年 8 月 20 日から 22 日に京都府立大学稲盛記念会館において、第 45 回サマーセミナーと第 6 回英語教育セミナーを併せた JACET 第 1 回ジョイントセミナー（京都、2018）を開催した。“Classroom research revisited: Who are the practitioners?”（「授業学」を問い直す—だれが ‘practitioners’ か？）のテーマのもと、英国リーズ大学の Judith Hanks 先生、京都大学の Tim Stewart 先生、関西大学の竹内理先生、広島大学の柳瀬陽介先生、兵庫教育大学の吉田達弘先生を講師として招き、講演やシンポジウムが行われた。また、「授業学」をテーマとして行ってきた（英語教育セミナーにあたる 3 年間）活動の総括として、JACET 授業学研究会（関東、中部、関西）による合同シンポジウムが行われた。岡田伸夫先生の司会のもと、馬場千秋先生（関東）、佐藤雄大先生（中部）、村上裕美先生（関西）がパネリストとして登壇され、議論を交わした。さらに、JACET アーカイブほか参加者によるポスターセッション（12 件）、賛助会員によるプレゼンテーション（10 件）や展示もなされた。参加者は 140 人で、活発な意見交換や情報交換が行われ、3 日間の研修で当該テーマについての理解を深めた。実施内容については

『JACET 通信 No.203』で報告した。今後、2016年から2018年になされた英語教育セミナーでの成果をまとめ、『英語授業学研究の最前線（仮）』（ひつじ書房）として刊行すべく、編集をすすめている。

(3) 支部大会の開催

以下のように、各支部において支部大会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動に大きな道標となった。大会内容については、各支部ニューズレターで報告された。

- ・北海道支部大会 平成30年7月7日
- ・関東支部大会 平成30年7月8日
- ・中部支部大会 平成30年6月16日
- ・関西支部大会 平成30年11月17日
- ・中国・四国支部大会 平成30年6月2日、10月27日
- ・九州・沖縄支部大会 平成30年7月7日

(5) 支部講演会の開催

以下のように、各支部において講演会が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・関東支部講演会 平成30年4月14日、9月8日、11月10日、12月8日、平成31年1月12日
- ・関西支部講演会 平成30年8月19日、10月13日、平成31年3月9日
- ・九州・沖縄支部講演会 平成30年7月7日、11月24日

(6) 支部研究会等の開催

以下のように、各支部において研究会等が開催された。披露された研究成果や知見が各研究者の研究活動の大きな道標となった。

- ・北海道支部研究会 平成30年11月18日、平成31年3月3日
- ・東北支部例会 平成30年11月25日
- ・関東支部月例研究会 平成30年5月12日、6月9日、10月13日
- ・中部支部研究会 平成30年11月17日、平成31年3月2日
- ・中国・四国支部地区大学間連携イベント Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会
平成30年12月16日
- ・九州・沖縄支部特別研究会 平成30年10月13日

2号事業報告：出版物刊行事業

(1) 『紀要』の刊行

平成31年2月25日に『JACET Journal』63号を刊行した。会員より応募された論文、リサ

ーチ・ノート、及びブックレビューの 3 つの分野における論文を厳正に審査し、掲載、非掲載を決定した。会員及び英語教育関係機関（国立国会図書館、大学基準協会、コンピュータ利用協議会、全国語学教育協会、海外提携学会等）へ送付し、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

(2) 『Selected Papers』の発行

平成 30 年 8 月に『JACET International Convention Selected Papers』5 号を発行した。国際大会で口頭発表（一般ポスター発表も含む）した発表者の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えるため、また海外の学会や英語教育関係者に日本の研究をリアルタイムで発信するため、電子ジャーナル（オンライン）として発行した。

(3) 『JACET 通信』の刊行

- ① 平成 30 年 7 月 1 日に『JACET 通信』202 号（日本語、ウェブ版）
- ② 平成 30 年 12 月 1 日に『JACET 通信』203 号（日本語、印刷版）
- ③ 平成 31 年 3 月 1 日に『JACET 通信』204 号（英語、ウェブ版）

通信を 3 回刊行し、大学英語教育関連の情報発信に寄与した。学会の最近の動向や優秀な大学英語教育を紹介することにより、会員の大学英語教員としての意識を向上させることができた。また、国内の他学会からの寄稿により、学際的な教育や研究の動向を知ることもできた。②では第 57 回国際大会報告を行うとともに、巻頭言では会長から「第 1 回 JAAL in JACET 学術交流集会」を中心とした 2018 年度からの新しい事業についての説明も掲載した。

(4) 支部紀要の発行

各支部で紀要を発行し、会員及び英語教育関係者等へ送付した。支部紀要は、支部会員の学術研究を奨励し、論文発表の機会を与えた。また、日本の英語教育研究の最新情報を発信した。

- ・『北海道支部紀要』15 号 平成 31 年 3 月 15 日
- ・『関東支部紀要』6 号 平成 31 年 3 月 31 日
- ・『中部支部紀要』16 号 平成 30 年 12 月 20 日
- ・『JACET Kansai Journal』21 号 平成 31 年 3 月 31 日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』16 号 平成 31 年 3 月 31 日
- ・『Annual Review of English Learning and Teaching』23 号 平成 30 年 11 月 30 日

(5) 支部ニューズレターの発行

各支部でニューズレターを発行し、支部活動動向や、支部会員への英語教育に関する情報提供と情報交換を行った。

- ・『JACET 北海道支部ニューズレター』32 号 平成 31 年 3 月 20 日
- ・『JACET 東北支部通信』45 号 平成 31 年 3 月 31 日
- ・『JACET 関東支部ニューズレター』11, 12 号 平成 30 年 9 月 30 日、平成 30 年 3 月 31 日

- ・『JACET Chubu Newsletter』 40, 41 号 平成 30 年 5 月 10 日、平成 31 年 1 月 10 日
- ・『JACET Kansai Newsletter』 80, 81, 82 号 平成 30 年 5 月 20 日、7 月 31 日、11 月 1 日
- ・『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』 21, 22 号
平成 30 年 7 月 30 日、平成 31 年 1 月 20 日
- ・『九州・沖縄支部ニューズレター』 34 号 平成 30 年 4 月 2 日

3号事業報告：表彰事業

(1) 大学英語教育学会賞の表彰

第 57 回（2018 年度）国際大会の 2 日目（平成 30 年 8 月 29 日）に、英語教育における研究または実践上の顕著な業績を通してわが国における大学英語教育の改善と進歩・発展に寄与した本学会員である個人または団体に対して表彰を行なった。受賞者に対しては賞状とともに記念品を贈呈した。

平成 30（2018）年度大学英語教育学会賞

・論文部門

受賞者：松田紀子（藍野大学）

対象業績：論文 “Evidence of the effects of text-to-speech synthetic speech to improve second language learning” (JACET Journal No.61 (2017), pp. 149-164)

・新人発表部門：

受賞者：Wang, Wei Tung（明治大学大学院生）

対象業績：研究発表 “Vocabulary Acquisition from Elementary School to Senior High School in Japan and Taiwan”（大学英語教育学会（JACET）第 57 回国際大会（仙台、2018）2018 年 8 月 28 日発表）

その他の部門に関して、今年度は該当者がなかった。

4号事業報告：協力事業

(1) 関係学術団体への派遣 I（海外提携学会）

① MELTA (Malaysian English Language Teaching Association)

平成 30 年 8 月 18 日から 20 日に The 27th MELTA International Conference がマレーシアのジョホールバルで開催された。本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、携学会関係者との意見交換を行った。

② KATE (The Korea Association of Teachers of English)

平成 30 年 7 月 6 日と 7 日に大韓民国で開催された KATE 2018 International Conference に本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

③ AILA (Association Internationale de Linguistique Appliquée) EIBC

平成 30 年 6 月 4 日にオランダで開催された AILA（国際応用言語学会）の EIBC business

meeting に、AILA 担当で AILA EBIC メンバーでもある委員を派遣した。平成 29 年度の AILA の資金（会費+寄附金）の運用、平成 29 年の Honorary Member、UNESCO に言語政策に関する提言をする委員会（Strategic Collaboration）、社会政策委員会（Socially Relevant Politics）の新規開設、AILA の地域活動を活発化する SAAL と MAAL との共同企画、AILA の Website Development Team の新設、Oasis、Multigigual Matters, Word of the Year との協力、AILA2017 年 Rio de Janeiro 大会の報告および 2020 年 Groningen 大会の準備状況報告、その他の報告・協議が行われた。

④ PKETA (Pan-Korea English Teachers Association)

平成 30 年 11 月 3 日に大韓民国で開催された 2018 PKETA International Conference に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑤ ALAK (The Applied Linguistics Association of Korea)

平成 30 年 10 月 13 日に大韓民国で開催された ALAK 2018 International Conference に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑥ CELEA(Chinese English Language Education Association)

平成 30 年度の派遣はなし。

⑦ ETA-ROC (English Teachers' Association of Republic of China)

平成 30 年 11 月 9 日から 11 日に台湾で開催された The 27th International Symposium and Book Fair on English Teaching に本学会より学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑧ Thai TESOL(Thailand TESOL)

平成 31 年 1 月 18 日と 19 日にタイ王国で開催された The 39th Annual ThaiTESOL International Conference に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

⑨ RELC (Regional Language Centre)

平成 31 年 3 月 11 日から 13 日にシンガポール共和国で開催された 54th RELC International Conference and 5th Asia-Pacific LSP & Professional Communication Conference に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(2) 関係学術団体への派遣Ⅱ（国内提携学会）

① JALT (The Japan Association for Language Teaching)

平成 30 年 11 月 23 日から 26 日に静岡県で開催された 44th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition に本学会代表者 1 名を派遣し、研究発表のほか、提携学会関係者との意見交換を行った。

(3) 提携学会からの代表者受け入れ

① JACET 国際大会での Reception 開催

平成 30 年 8 月 27 日に開催された第 57 回（2018 年度）国際大会学術交流レセプションに提

携学会からの代表者を招待し、親睦を深めるとともに情報交換を行った。

② JACET 国際大会での提携学会学術交流会議開催

平成 30 年 8 月 28 日に提携学会学術交流会議を行い、提携文書内容の再検討、共同研究活動の審議などを行い、各提携団体とのさらなる研究交流の可能性が広がった。

③ JACET 国際大会での招聘発表、シンポジウムの実施

平成 30 年 8 月 28 日から 30 日に開催された第 57 回（2018 年度）国際大会に、国外・国内提携学会からの代表者を招聘し、学術交流、協力活動に関する事業を計画し、招待講演、AILA・East シンポジウムを通して各提携団体とのさらなる研究交流の可能性が広がった。

5 号事業報告：調査研究事業

(1) 専門分野別の研究会活動

48 の研究会がそれぞれの分野での調査研究を基盤として、会員の資質向上、書籍出版、教材開発、紀要等での論文発表などの活動を行った。それにより、大学英語教育の発展に寄与し、会員相互の専門知識と技能の向上、会員の知見による学術の発展及び社会への還元を行った。また、各研究会の研究成果物を可能な限り公開できるように、そのための整理を行った。

(2) JAAL in JACET 学術交流集会の開催

平成 30 年 12 月 1 日に高千穂大学で第 1 回 JAAL in JACET 学術交流集会を開催した。「研究者間、研究会間、産学連携、学会連携など横のつながりを創り出すような学術交流集会」を目標として、研究発表 15 件、産学連携発表 3 件、研究会のポスター発表 18 件、賛助会員展示 16 件、賛助会員プレゼン 12 件、そして、情報交換会分科会と全体会、会長講演を実施した。約 170 名が参加した。本学術交流集会の公式ホームページ (<https://jaal.site/2018/>) を設置して情報を発信すると共に、情報交換会の報告書『第 1 回 JAAL in JACET 学術交流集会 情報交換会まとめ』、『JACET 通信』、論文集『JAAL in JACET Proceedings, Volume 1』（査読付き）を通じて、その成果を公表した。

6 号事業報告：その他 法人事業

(1) 理事会の開催

平成 30 年 5 月 20 日、6 月 17 日、8 月 27 日、12 月 23 日、平成 31 年 3 月 17 日の計 5 回、理事会を行った。

(2) 定例社員総会の開催

平成 30 年 6 月 17 日に平成 30 年度定例社員総会を行い、平成 29 年度決算、平成 30 年度人事、諸規程の承認等を行った。内容はウェブサイトおよび『JACET 通信』で報告した。

(3) その他の委員会の開催

定例の各運営委員会、運営会議、顧問会議、支部委員会、支部役員会を適宜行った。

(4) 『会員名簿』の刊行

会員情報の提供、定款等規則の開示を目的として『一般社団法人大学英語教育学会（JACET）会員名簿』を平成30年12月1日に発行した。

(5) 社員選挙の実施

平成30年10月から平成31年1月にかけて、2019～2020年度大学英語教育学会社員の選挙を行った。『社員選挙規程』に則り立候補および他薦を応募し、候補者を選出し、候補者公示の後に異議申し立て期間を設置し、社員を選出した。

(6) JACET アーカイブの作成

平成30年4月から8月にかけてJACETアーカイブを作成し、平成30年度国際大会で「JACETアーカイブ」をお披露目した。

(7) 支部総会の開催

各支部において、支部総会を開催した。

- ・北海道支部総会 平成30年7月7日
- ・東北支部総会 平成30年6月30日
- ・関東支部総会 平成30年7月8日、11月10日
- ・中部支部総会 平成30年6月16日、11月17日
- ・関西支部総会 平成30年11月17日
- ・中国・四国支部総会 平成30年6月2日
- ・九州・沖縄支部総会 平成30年10月13日

以上